

別紙 能代火力発電所3号機におけるブラックペレットの混焼試験について



- 能代火力発電所3号機でのブラックペレット混焼試験は、木材等を加熱して半炭化・ペレット化させたバイオマス燃料「ブラックペレット」を既存の石炭に混合し、ボイラーで燃焼させた際の燃焼状態等の確認を行うものです。
- 今回の混焼試験では、昨年度の混焼率(=重量比1%)を上回る量(=重量比20%)の混焼に取り組み、問題なく発電できることを確認いたしました。
- また、今回の試験では、船での海上輸送や、既存設備での荷揚げ、港湾部から貯炭場までの運搬などを行い、ブラックペレットを問題なく受け入れられることも確認しております。

【今回のブラックペレット混焼試験の概要】

対象号機	能代火力発電所3号機
所在地	秋田県能代市字大森山
出力	60万kW
試験日	2024年11月13日~15日
ブラックペレット混焼率	最大20%(重量比)

【混焼試験の様子】

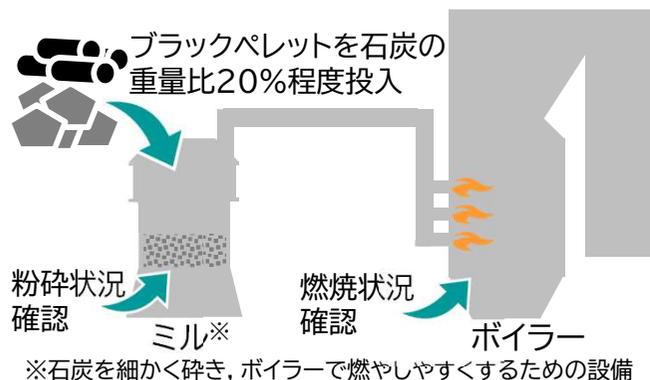


<ボイラーの燃焼状況確認>



<試験中の中央制御室>

【混焼のイメージ図】



<揚炭機を用いた荷揚げ>



<貯炭場に積まれたブラックペレット>